

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設特集号

新庁舎に関すること＝企画政策課企画政策係 ☎042－387－9800
 (仮称)新福祉社会館に関すること＝地域福祉課地域福祉係 ☎042－387－9915

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設 基本設計(案)がまとまりました



※庁舎屋上部分に都防災無線の鉄塔(約20m)を設置する予定です。

市では、新庁舎・(仮称)新福祉社会館の建設に向けて、新庁舎建設基本計画、(仮称)新福祉社会館建設基本計画および新庁舎・(仮称)新福祉社会館複合化整備方針等の理念の実現を目指し、検討を進めてまいりました。今年度は、市民ワークショップやこがねいミーティング等の市民参加を行い、多くの市民の皆さんにご協力をいただきながら、基本設計を進めてきており、この度、新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設基本設計(案)がまとまりましたので、お知らせします。

基本方針 「庁舎」と「(仮称)新福祉社会館」を『重ね合わせ』市民が主役となる『交流の場』をつくります

Point1 建物と一体となった立体的な『小金井ひろば』

敷地内に大きなスペースを創出し、さらに(仮称)新福祉社会館の屋上まで立体的に緑を繋ぎます。

既存の樹木も活かしながら、市民の憩いの場、交流の場となる『小金井ひろば』をつくります。

Point2 『重ね合わせ』することで生まれる交流の場

庁舎と(仮称)新福祉社会館の複合部分であるマルチスペース、吹抜けに面して市民活動スペースを配置することで、人と人が集う活動スペースが繋がり、両施設の相互利用が活性化します。

Point3 『防災の拠点』として、安全・安心の複合庁舎

災害対策の拠点となる庁舎は、発災後、速やかに活動できるよう免震構造を採用。災害ボランティアセンター等が設置される(仮称)新福祉社会館には雨に濡れずに活動できるピロティを設置し、防災の拠点として有機的に機能します。

Point4 循環型都市を目指して、環境にやさしい施設

小金井の自然を活用し、高効率設備の設置、運用により、快適で省エネルギーな環境にやさしい施設を目指します。

MAP



計画概要

■敷地概要

計画地：小金井市中町三丁目
1957番5,7,9
小金井市緑町五丁目
1957番17
敷地面積：11,252.05㎡
用途地域：準工業地域
防火地域：準防火地域
高度地区：第2種高度地区
日影規制：4時間、2.5時間
建ぺい率：60%
容積率：200%

■建築計画概要

主要用途：庁舎、児童福祉施設等、集会場
建築面積：約3,900㎡
延床面積：約17,130㎡(地下階含む)
階数：地上6階、地下1階(庁舎)
地上3階((仮称)新福祉社会館)
構造：庁舎…鉄骨造(免震構造)
(仮称)新福祉社会館…鉄骨造(耐震構造)
高さ：約27m
駐車台数：124台(地上62台、臨時駐車場23台、地下39台)
駐輪台数：400台
概算費用：約84.4億円